

※ 役員名簿・構成員名簿を添付してください。

※ 今年度予算書、前年度決算書を添付してください。

(第6条関係)

事業計画書

| | |
|-----|-------------------|
| 事業名 | AEDの正しい使用法を広めたい事業 |
| 団体名 | デフィブリーるの会 |

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

☆AEDについて昨年までの状況と大きく異なる点が3つあると感じています。

①東日本大震災に伴い、「命」について、皆改めて考え、感じている。

②サッカーのビッグな選手「松田選手」の死亡事故はAEDを大きく浮き彫りにした。

③救急医療の財団が「AEDを市民目線による使用率」に焦点を当て始めた。

☆この状況の中で、

・平成23年9月現在、松戸市内に設置されている「AED」は336台。前年比+54台。

一般の人によるAED使用率は2%前後と、まだ向上していません。

・全国での市民による使用件数は583例、前回調査比+150例と向上し、使用率も向上していると報告されていますが、2%強という使用率はあまり変わっていないようです。

・心肺停止で倒れた人に対する市民による対応法も検討され、「AED」使用と同時に「心臓マッサージ」を最優先させ、人工呼吸を条件付けしないで啓蒙していくことになりました。

・その様な条件の中で、「AED」をより市民目線で啓蒙していく重要性が指摘されています。

●具体的には、①救急隊による救急救命講習を簡略化して、1時間講習を設けるようです。

②若年層への啓蒙。中学2年生の授業でカリキュラム化の検討がされています。

③救急処置で熟練度別に対応する新しい概念が導入されるようです。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

●私たちの目の前で倒れた人に対して、「一歩踏み出す勇気を・・・！」

・一般の人にとって、AEDを使って救命処置をするのはとても難しい。

なぜなら・救急救命の手法が分からない

・倒れた人に触れる事の抵抗感

・結果が悪かったら…という不安

・心臓が止まっていなかったら？ 他の原因では？

・国民性・・・かかわり合いたくない、他人の前で恥ずかしい、誰かがやってくれるだろう。

とされています。

●私たちは、もし倒れている人に遭遇したら「心臓マッサージをやり、次に救急車とAEDの手配を！」

この救急救命の手順を、手軽に体験して貰う事が松戸の救命率を上げるために重要だと考えます。

●「気軽にAEDに触れて慣れて貰うことが最も大切」、

- ・AED使用の抵抗感を少なくしたい。
- ・心臓マッサージにも慣れておいて欲しい。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

- ・事業内容
- ・私たちの会のスタッフが、AEDの使用法や救急救命の第1歩の体験会、講習会を実施します。突然の要請や短時間の講習会など、気軽に要請して貰いたいと考えています。その内容は、
 - ① 心臓マッサージの実際を体験する。(マネキン人形を使って)
 - ② AEDに触れて貰う。作動させてみる。(トレーニング用AEDを使って)
 - ③ 救急救命の初歩を学びます。
- ・講習会、体験会をいつでも、どこでも行います。
- ・父兄に知ってもらいたい・・・PTAで
- ・中学生、高校生、大学生に知ってもらい、緊急時のリーダーになってもらう。(Let's体験など)
- ・想定されるスケジュール(事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください)

| | 具体的な取り組み | 実施体制、対象、場所など |
|---------|--|---|
| 4月～6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・半期見直し ・生涯学習展示会 ・小学校家庭教育学級体験会 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動助成金受けに伴い。 ・聖徳大生涯学習イベント ・市内小学校 |
| 7月～9月 | <ul style="list-style-type: none"> ・松戸献灯祭り体験コーナー実施 ・Let's体験ボランティア受入れ ・夏祭り体験会 ・施設主催バザー体験コーナー実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・献灯祭りの要請 ・サポートセンター事業に協力 ・町会の要請 ・施設からの要請 |
| 10月～12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園体験コーナー ・音楽会でAEDの報告講話 ・スポーツジムAED講習会 ・自衛隊祭り体験コーナー ・家庭教育学級体験会 ・福祉フェア体験実演コーナー | <ul style="list-style-type: none"> ・市内AED設置幼稚園の要請 ・森のホール ・市内ジムの要請(松田選手死亡事故の反省) ・松戸市助成事業化を聞いての要請 ・相模台小学校の要請 ・小金原福祉協議会の主催 |
| 1月～3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級体験会 ・松戸市見本市キャラバン参加 ・見本市参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・北部小学校要請 ・常盤平、六実、馬橋 ・サポートセンター |

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

参加者数は①イベントで 前年・600名→本年見込・3か所増の1,000名→次年度・自衛隊増で1200名

②講習会 前年・120名→本年見込・140名→次年度・200名

といずれの催しにおいても増加が見込まれます。

よって、「気軽にAEDに触れて、馴染んでもらう」活動を以下の優先順位で取り組みます。

- 1) 小学校の家庭教育学級を中心に父兄に馴染んでもらう。
- 2) 多様な事業者からの要請に対応し「AEDが露出する場面を多くする」・(例・キックジム講習)
- 3) 市民活動助成事業合格に伴う、要請箇所の変化を受けていきたい。
例・聖徳大生涯教育フェア、自衛隊催し、障害者施設催し、献灯祭り参加など
- 4) 他の活動団体とのコラボレーション

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- 1) 助成処置を受けた実績を踏まえ、確実な講習会活動、体験会活動を継続しAEDによる救急処置の一層の普及を図る。
- 2) 運営資金は今後、募金や寄付行為に頼ることになるが、私たちの団体を市民活動助成団体として位置づけて貰った実績をアピールしていきたい。
- 3) 市民目線の「救急救命とAED」をつなげる活動を続ける。

以上

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

| 申請者 | (自己資金) | 金額 | 積算内訳 |
|-----|--------------------------|----------|---|
| | 繰越金 寄付金など 講習会講演料など | 200,000円 | 前期繰越金 94,434円 寄付金 70,000円 募金講演料など 35,566円 |
| | 自己資金合計(a) | 200,000円 | |
| 市 | 助成金申請額(b) | 100,000円 | |
| | 収入合計(c)(a+b) | 300,000円 | |

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

| 対象 | 項目 | 金額 | 積算内訳 |
|----|----|----|------|
|----|----|----|------|

| | | | |
|-----|-----------------|-----------|---|
| | 広報紙制作費 | 20,000 円 | |
| | 訓練用人形・AED レンタル料 | 84,000 円 | 人形 1 回 6,000 円/3 日×7 回 AED 1 回 6,000 円/3 日×7 回 |
| | 講師謝礼 | 20,000 円 | 1 回 10,000 円×2 回 |
| | 対象となる経費合計額 (d) | 124,000 円 | |
| その他 | 会議、備品、管理費など | 70,000 円 | プリンター、デジカメなど |
| | 備品 AED | 106,000 円 | 訓練用 AED 1 台 |
| | その他経費合計額 (e) | 176,000 円 | |
| | 事業費 (f) (d+e) | 300,000 円 | |

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。